

学校統合を考える

長島町の課題の一つ「学校統合・再編」。

とどまるところを知らない少子高齢化の波が押し寄せる中、本町において学校統合問題は、喫緊の課題となっています。今後の統合・再編計画や、町教育委員会が開催した説明会での意見交換の様子をお知らせします。

昨年度、獅子島地区では、両町合併後、初の学校統合が実施され、獅子島幼・小・中学校が開校しました。本年度、本浦小学校が開校し、平成27年度、鷹巣小学校と統合することが決定しています。将来の子どもたちを育む教育について、町民一丸となって考えてみましょう。

これまでの流れ

町では、少子高齢化や住民ニーズの高度化・多様化などの社会情勢の変化に対応して行財政運営の一層の簡素化・効率化を図ることを目的に、平成18年、長島町行政改革推進委員会を発足し、長島町行政改革大綱を定めました。

大綱には「小中学校の統廃合については、複式学級の解消を原則として、児童・生徒への教育的配慮を考慮のうえ取り組む」とあります。

これに基づき、長島町教育委員会では、町立小中学校等の規模・配置の在り方検討委員会を設置しました。同委員会では小・中学校の適正な規模・配置について協議を重ね「長島本島は小学校4校、中学校1校」との枠組みが示されました。

その後、各地区で住民説明会を開催し、議会、行政、学校、保護者や地域などの代表者31名による委員で構成する、長島町立小中学校等統廃合推進委員会により、平成26年3月27日、長島本島地区の統廃合実施計画について答申がありました。

長島本島地区における統廃合実施計画（答申）

長島町立小中学校等統廃合推進委員会の答申の主なものは、次のとおりです。

「中学校の統廃合」

免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成などのために、本島で1校に編成する。

場 所 長島高等学校跡地
統合日 平成29年4月1日

「小学校の統廃合」

小規模小学校においても、望ましい学習環境を確保するために、4校に編成する。

① 鷹巣・本浦・伊唐

場 所 鷹巣小学校

統合日 本浦小（平成27年4月1日）
伊唐小（平成29年4月1日）

② 川床・田尻

場 所 川床小学校

統合日 平成29年4月1日

③ 城川内・汐見・蔵之元

場 所 長島中学校

統合日 平成30年4月1日

④ 平尾

現在の中学校区に1校ずつ小学校を置く考えで現状通りとする。

◇小中学校統合・再編の経緯◇

○平成18年3月20日

新長島町誕生

○平成18年12月6日

長島町行政改革推進委員会から行政改革大綱答申

○平成21年2月17日

長島町立小中学校等の規模・配置の在り方検討委員会からの答申

○平成22年8月

（長島本島は小学校4校、中学校1校に統合）

長島町立小中学校統廃合基本計画

実施計画策定（9月）

○平成22年11月12日

長島町立小中学校等統廃合推進委員会が発足

○平成25年4月

獅子島幼・小・中学校が開校

（獅子島小学校と幣串小学校が統合）

○平成25年12月20日

長島町立小中学校等統廃合推進委員会開催

（委員31人）

○平成26年3月27日

長島町立小中学校等統廃合推進委員会より答申